

様式1 平成 26年度 山梨県立甲府工業高等学校学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針 新しい時代を主体的・創造的に生きる、地域や産業界に貢献できる、逞しくしなやかな心を持つ人間性豊かな工業技術者を育成する。

山梨県立甲府工業高等学校校長 齊藤 与

本年度の重点目標	1 社会に通用する人間力を持った人材を育成する。	達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)	評価	4 良くできている。
	2 確かな学力の向上を図り、生徒の希望進路を実現する。		B 概ね達成できた。(6割以上)		3 できている。
	3 部活動を積極的に推進し、心身の健全育成に努める。		C 不十分である。(4割以上)		2 あまりできていない。
	4 時代のニーズに対応した、教育活動を推進する。		D 達成できなかった。(4割未満)		1 できていない。

自 己 評 価				年度末評価 (2月 7日現在)		
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	確かな学力の向上を図り、生徒の希望進路を実現する。	生徒の第1希望の就職内定率 100%を達成する。	第1希望内定率 90~100% :A 80~89% :B 70~79% :C	就職については、生徒の第1希望の就職内定率93.0%。 進学については、生徒の第1希望の進学合格率91.9%。	A	生徒の第1希望の就職内定率100%、進学合格率100%を達成するため、学校全体で全力で取り組む。
2	各部活動共に各種大会で目標を設定し達成する。	目標が達成できるように各部で綿密な練習計画を作成し実行する。	各部の目標達成率により、 ほぼ達成できた:A 概ね達成できた:B 不十分である:C 達成できなかった:D	総合体育大会4位 関東大会出場 9部 インターハイ出場 4部 学芸局全国大会出場 2部	B	本年度の総合体育大会は2位から4位まで同点。しかし、優勝種目数、準優勝種目数により4位。 来年度は総合優勝を狙う。 各部とも今年度よりも高い目標を設定し、練習方法等を工夫し目標を達成する。
3	コンテストの優勝回数各学科1回以上を達成する。	各学科メインの県内コンテストで優勝1回以上を達成できるように、授業や早朝放課後課外、長期休業中の指導を綿密に計画し実施する。	優勝回数 5回≧A, 4回=B, 3回≧C	1 機械科 機械加工：旋盤作業部門 3位/6 溶接競技会 6位/29 2 電気科 山梨県高校芸術文化祭製図コンテスト 芸術文化祭賞 1名 山梨県工業系製図コンテスト 金賞1名、佳作4名 3 電子科 プログラムコンテスト 金賞1名、銀賞2名 WRO関東大会 6位/61チーム 4 建築科 木材加工部門 1・2・3位/9名 5 土木科 山梨県高校芸術文化祭製図コンテスト 芸術文化祭賞 1名 山梨県工業系製図コンテスト 金賞1名、銀賞1名、佳作4名 ものづくりコンテスト(測量部間) 県予選1位・3位	B	各学科メインの県内コンテストで優勝1回以上を達成できるように、授業や早朝放課後課外、長期休業中の指導を綿密に計画し実施する。
4	各学科・教科で資格取得の目標を設定し達成する。	授業や早朝放課後課外、長期休業中の指導について綿密な計画を行い実施する。	各学科・教科の目標達成率により、 ほぼ達成できた:A, 概ね達成できた:B, 不十分である:C 達成できなかった:D	1 機械科 技能士(機械加工：旋盤作業部門2級、機械検査2級) 山梨県高校生初2級を2種類合格 2 電気科 第一種電気工事士 19名合格 第二種電気工事士 81名合格 3 電子科 電気通信工事担任者総合種1名 4 建築科 2級建築施工管理技術検定合格者 27名 5 土木科 測量士補 1名 2級土木施工管理技術検定 合格 13名	A	授業や早朝放課後課外、長期休業中の指導について綿密な計画を行い実施してきている。結果として、機械科では県内高校生初となる技能士を合格、電子科においても数年ぶりに総合種に合格、施工管理技術検定では最高でも2割の合格であったが、土木科で3割、建築科では6割の合格者を出した。 次年度も算数・数学の基礎テストの導入等について、綿密な計画を行い実施する。

学校関係者評価	
実施日 (平成27年 3月 3日)	
評価	意見・要望等
4	・生徒の特性を生かして、熱心な指導をされており、大変素晴らしいと思います。今後も引き続き努力をして下さい。 ・就職・進学とも非常に素晴らしい結果を納めることができたことと、生徒・保護者の評価が昨年より高くなっていることを見たと申し分のない結果であると考えます。 ・前年度より就職については、第1希望内定率がアップしているが、進学合格率は、ややダウンしているため、今後も社会情勢にあった授業を進めていただきたい。 ・就職、進学とも第1希望の達成率が90%を超えと言う事は、生徒をはじめ先生方の並々な努力の結果と高く評価します。なお、進学率が昨年度より低くなっており、いろいろな事情があると思いますが、一層の工夫を要望します。
3	・多くの県民がより良い成績を望んでいます。頑張ってください。 ・各部の活躍と好成績は、学校のイメージアップに結びつくと思うので、なお一層の努力をし、頑張ってください。 ・私学との兼ね合いもあると思いますが、OBの方々はやはり母校の活躍を望んでおります。効果的な取組を期待します。
3	・目標を設定し、それに向けて努力することで、達成することは、社会人になってからも全く同じことが必要になるので、意味のある事はいうまでもありません。ただし、いつも達成できるとは限りません。未達成の時に、どのような学び方をするか、これがとても大切なことではないでしょうか。自分を勇気づける能力を身に付ける絶好のチャンスです。このあたりの評価も欲しい所です。(2、3の評価を一緒にしました。) ・各学科ともよく努力していると思います。上の目標達成のためにさらの努力して下さい。 ・社会に出て、目標を達成するための努力を養うために、積極的にコンテスト等に参加する様に指導してもらいたい。 ・各学科ごとに高いハードルを上げ、目標達成に取り組んでいる生徒をはじめ、指導に当たる先生方の熱意に敬意を表します。
4	・各学科ともよい成果を上げていると思います。 ・資格試験に向けて、先生方のご努力に敬意を表します。生徒に対してはもちろん、保護者への説明も十分になさってのことと思います。 ・先生方の熱意と努力により各学科とも、資うて得者が増え、生徒にとっても励みになるでしょう。 ・各種資格取得は、現在の社会状況を考えると必要不可欠であります。大変だと思いますが、引き続き必要性を説き、果敢にチャレンジすることを期待します。

留意点 (1) 重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2) 学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。